

和歌山市 住宅耐震化緊急促進アクションプログラム2022

1.目標

和歌山市耐震改修促進計画に定めた目標の達成に向け、住宅所有者の経済的負担の軽減を図るとともに、住宅所有者に対する直接的な耐震化促進、耐震診断実施者に対する耐震化促進、改修事業者の技術力向上、一般市民への周知・普及等の充実を図ることが重要である。

このため、和歌山市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム（以下「プログラム」という。）では、毎年度、住宅耐震化に係る取組を位置づけ、その進捗状況を把握・評価するとともに、プログラムの充実・改善を図り、住宅の耐震化を強力に推進することを目的とする。

2.位置付け

プログラムは、和歌山市耐震改修促進計画に基づき策定する。（プログラムは、和歌山市耐震改修促進計画に掲げる施策と併せて一層の耐震化を促進するために策定するものとする。）

3.取組内容・目標・実績

計画

令和4年度取組内容

- 【財政的支援】
- i) 住宅の耐震診断に対する全部又は一部補助を実施
 - ii) 住宅の耐震改修・建替費用（設計・工事費含む）に対する全部又は一部補助を実施
- 【普及啓発等】
- i) 住宅所有者に対する直接的な耐震化促進
 - ・令和4年度は大新・松江・広瀬・今福・中之島地区の約3,800戸の戸別ポスティングを実施予定
 - なお、戸別訪問については、令和8年度末までに全戸実施予定
 - ii) 耐震診断実施者に対する耐震化促進
 - ・耐震診断結果報告時に補助制度を説明することで耐震改修を促進
 - ・令和2年度に実施した住宅所有者に対してダイレクトメールを送付することで耐震改修を促進
 - iii) 改修事業者の技術力向上等
 - ・改修事業者に対する耐震改修工法等に係る説明会を年1回以上実施※
 - ・耐震改修事業者リストを作成・公表※
 - iv) 一般市民への周知普及
 - ・耐震改修の必要性の周知を実施
 - ・一般市民を対象に説明会・セミナー等を年1回以上実施※
 - ・パンフレット等により制度概要等の周知を実施※
- ※を付した普及啓発等の取り組みについては県と協力して実施する

令和4年度目標

- ・住宅に対する耐震診断補助戸数 : 275戸
- ・住宅に対する総合的な実施補助戸数 : 101戸

前年度までの実績

- 【令和3年度】
- ・住宅に対する耐震診断補助戸数 : 242戸
 - ・住宅に対する総合的な実施補助戸数 : 98戸
- 【令和2年度】
- ・住宅に対する耐震診断補助戸数 : 246戸
 - ・住宅に対する総合的な実施補助戸数 : 73戸
- 【令和元年度】
- ・住宅に対する耐震診断補助戸数 : 282戸
 - ・住宅に対する総合的な実施補助戸数 : 100戸
- 【平成30年度】
- ・住宅に対する耐震診断補助戸数 : 320戸
 - ・住宅に対する耐震改修補助戸数 : 111戸
- 【平成29年度】
- ・住宅に対する耐震診断補助戸数 : 251戸

自己評価

前年度（令和3年度）の取組実績

- ・野崎、高松、三田、本町、貴志地区の2,963戸に対し戸別ポスティングを実施
- ・令和元年度に耐震診断を実施した住宅所有者にダイレクトメールを実施
- ・市報わかやま5月号、11月号に補助制度掲載
- ・耐震改修事業者向けの技術力向上講習会を実施
- ・耐震改修事業者リストの作成・公表（県連携）
- ・補助制度を紹介するパンフレットを作成・配布
- ・耐震診断結果の報告時に補助制度の説明を実施

前年度（令和3年度）の課題

- ・今後も事業の推進に向け、引き続き補助制度の利用促進を図る必要がある

改善策

- ・広報誌、回覧等により各種補助制度を積極的にPRする
- ・他部局と連携し、幅広い機会を捉えて周知啓発を図る